

ISO 9001:2015 プロセスアプローチ

この資料の目的

ISO 9001:2015におけるプロセスアプローチについて説明する。

この資料は、

- ISO 9001に関し責任をもつISO分科委員会（SC）によって作成された。
- 制限なく一般に利用できる。

プロセスアプローチとは何か？

意図した結果を達成するための、プロセス及びそれらの相互作用の体系的なマネジメントである。

プロセスアプローチとは何か？

全ての組織は、次のためにプロセスを用いる。

- 相互に関係する又は相互に作用する活動を設定する。
- インプットをアウトプットに変換する。
- 目標を満たし、継続的改善を促進するためのチェックを組み込む。

プロセスアプローチは、
戦略的及び運用上の目標を達成するために
複数のプロセスを一つの完結したシステムに統合する。

どのようにして行うか？

組織は、プロセスアプローチを用いるために次の事項を行うことが望ましい。

- 組織の目標を満たすために必要なプロセスを理解し、定義する。
- プロセスが自らの状況に固有なものであることを認識する。
- 全てのプロセス及びそれらの相互作用を、リスクに基づく考え方を用いた一つのシステムに統合する。

プロセスアプローチとリスクに基づく考え方

- プロセスアプローチは、リスクに基づく考え方を組み込んでいる。
- リスクに基づく考え方は、マネジメントシステム、各プロセス及び各活動を確立し、実施し、維持する際に、リスクが考慮されることを確実にする。

プロセスアプローチとPDCA

プロセスは、PDCAサイクルを用いて管理することができる。

Plan	目標を設定し、結果を出すために必要なプロセスを構築する。
Do	計画されたことを実行する。
Check	目標に照らしてプロセス及び結果を監視し、測定する。
Act	結果を改善するための処置をとる。



どのような便益があり得るか？

- 説明責任（accountability）が強化される。
- 鍵となるプロセスに焦点を当て、それらを結び付ける能力が向上する。
- プロセスの内部統合が改善される。
- より一貫した結果に向けて、プロセスのパフォーマンスに対する意識が高まる。
- 資源の利用が改善される。
- 組織に対する顧客の信頼が高まる。

これらは全て組織に付加価値をもたらす。

更なる情報は、次のサイトから入手できる。

www.iso.org/tc176/sc02/public